個性が光る〝こだわりの宿〟37軒　特集

秀峰閣湖月

山梨県・富士河口湖温泉郷

四季の富士を望む絶景の宿

山梨県・富士河口湖温泉郷の秀峰閣湖月（小佐野国博社長）は、すべての客室、庭園、そして露天風呂から富士山を望む絶景の宿だ。世界文化遺産に登録された「富士山」を、温泉、料理とともに満喫できる。

河口湖北岸の静かな湖畔に立地し、宿から一歩外に出れば湖の波打ち際。「湖面越しに眺める富士山は稜線がはっきりとし、麓まで分かる。形はほぼ左右対称。ここまで美しい富士はなかなかない」と宮下武常務。

客室は和室、和洋室など計45室。広縁やバルコニー、ベッドなどから富士山を望む。このうち温泉露天風呂・足湯付き客室が4室、温泉足湯付き客室が3室あり、温泉を堪能しながら自分だけのプライベート富士を堪能できる。

富士山

庭園は、新緑、夏山、紅葉、雪山と四季の富士山を写真撮影するのに絶好のポイント。秀峰閣湖月のホームページには、同館から宿泊客が撮影した富士山の写真を紹介する「湖月フォトアルバム」のコーナーがあり、年1回スタッフの投票で大賞も選出している。

湯に浸かりながら見る富士山も格別だ。雪をいただく山肌が朝日で赤く染まる赤富士にちなむ婦人露天風呂「赤富士」、月明かりの中に浮かぶ黒富士の名を冠した殿方露天風呂「黒富士」。それぞれの正面には富士山。婦人大浴場「おとめ桜」、殿方大浴場「ふじ桜」からもガラス越しに富士山が広がる。

富士の絶景に加え、料理でも魅了。旬の食材を吟味して調理した会席料理を提供している。季節に合わせた料理の変更は年8回に及び、こだわりの味と美しい盛り付けが自慢。好評な料理の一つが「甲州ワイン豚しゃぶしゃぶ」。甲州ワインを飲ませて育成した希少価値の高い甲州ワイン豚を一頭買いして食膳に提供している。

▽秀峰閣湖月は山梨県南都留郡富士河口湖町河口2312。☎0555（76）8888。https://www.kogetu.com/

殿方露天風呂「黒富士」

秀峰閣湖月の外観

ホテル双葉

新潟県・越後湯沢温泉

織物テーマの客室も

越後湯沢温泉の中でもひときわ高い丘の上に建つ「ホテル双葉」（小林庄一社長）。同館の魅力は何といっても「ふたば」。「ぱぱらく」「ままらく」「里の湯」「山の湯」の4カ所の大浴場があり、多くの湯巡りができることからこの名が付いている。

客室は、29の露天風呂付き客室をはじめ、バリアフリー対応で150平方㍍を超える3タイプの邸宅風客室「花・水・木」など多彩にそろう。また、地域の伝統織物文化を継承する宿でもあり、魚沼の織物をテーマとした客室「おぢや」「とおかまち」「しおざわ」も用意。中には先代女将着用の着物も再生活用している。

客室・館内設備

食事は、利用者のプライベート空間を基調とした仕切りのある個室の食事処「万葉の小径」と個室ダイニング「花暦」、そして、椅子テーブルの個室ダイニング「万葉茶屋」などで料理長こだわりの料理を提供する。

▽ホテル双葉は新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢419。☎025（784）3357。http://www.hotel-futaba.com/

客室「しおざわ」

常磐ホテル

山梨県・湯村温泉

皇族や文豪が愛した伝統ある旅館

90年の歴史を持つ山梨県甲府市湯村温泉の常磐ホテル（笹本健次社長）。アメリカの日本庭園専門誌で3位に選ばれたこともある日本庭園を持ち、「甲府の迎賓館」とも呼ばれる旅館だ。

庭園を囲む全50室の客室は、南アルプスを望む東館、富士山を遠望する西館、どちらもゆったりとした間取りで上品な和の情緒を感じることができる。

客室・館内設備

中でも常磐ホテルらしい風情を彩るのは7棟11室の個性豊かな離れ。庭園に面した各離れは、各界の賓客をおもてなししてきた、趣ある数寄屋造りだ。離れ1階の客室は、源泉掛け流しの露天風呂付き客室で、檜、陶器、舞台造りなど全て趣が異なる風呂が配され、他の人の目を気にすることなく温泉を満喫することができる。また、将棋・囲碁の対局、タイトル戦が行われる、番勝負の間「九重」も人気が高い。

そんな同館の歴史と魅力を紹介する館内ツアーも毎日開催。多くの皇族や文豪が逗留した際のエピソード、そして将棋・囲碁の勝負の記録を展示した「名人の小径」などを紹介するツアーが評判だ。また、9月からは毎週土曜日夜にジャズ奏者を招いてのロビーコンサートも開催される予定だ。

温泉は男女それぞれ、特徴ある設備となっている。黒い御影石、開放的な窓と広い湯船、壁や天井に木材を使用し、重厚な雰囲気の男性風呂。併設の露天風呂は庭園の中にあり、四季折々の景色を眺めながらくつろげる。女性大浴場は、男性浴場とは対照的な赤い御影石の縁で囲まれた大きな浴槽が魅力。大きな窓からは、採光が豊かに降り注ぐ。また、女性露天風呂には、木の香り豊かな檜風呂が使われている。

開湯1200年、「武田信玄の元湯」として歴史ある湯村温泉。身も心もつるつるに、心癒やされ元気になる時間を満喫してみては。

▽常磐ホテルは山梨県甲府市湯村2の5の21。☎055（254）3111。http://www.tokiwa-hotel.co.jp/

夏の庭園と離れ

離れ露天

風のテラスKUKUNA

山梨県・富士河口湖温泉郷

地元の旬と甲州ワイン

山梨県富士河口湖温泉郷の「風のテラスKUKUNA」（宮下明壽社長）は、全ての客室と最上階の展望大浴場から富士山と河口湖の大パノラマを望む眺望抜群の宿だ。

料理やサービスも好評な同館レストラン。「GEKKO月虹」は、活きた食材を目前で調理する鉄板焼き。厳選された肉料理、新鮮な魚介類をライブ感覚で味わえるほか、「MOONBOW」では、和、洋、スイーツのビュッフェと創作コースの両方を楽しめるスタイルだ。どちらも世界銘醸地のワインや人気の甲州のワインをソムリエがセレクト。ここでしか味わえない旬の地元食材とのマリアージュを堪能できる。

料理・食事

富士の絶景を見ながらの朝食では、焼きたてオムレツやシェフオリジナルフレンチトーストが一押しだ。

「KUKUNAならではの山梨キュイジーヌを満喫してほしい」。

▽風のテラスKUKUNAは山梨県南都留郡富士河口湖町浅川70。☎0555(83)3333。https://kukuna.jp/

創作コースの料理

慶雲館

山梨県・西山温泉

世界で最も歴史ある旅館

「全館源泉掛け流しの宿　西山温泉　慶雲館」（川野健治郎社長）は、今からおよそ1300年前の西暦705年創業。さまざまな部門の世界一を記録した「ギネス・ワールド・レコーズ」に、「世界で最も歴史ある旅館」として登録されている。現在の当主、川野さんは53代目。歴史の重みを感じさせる宿だ。

温泉・浴場

温泉はこの地に流浪してきた都人の藤原真人が狩猟の途中に偶然発見。以来、現在まで枯れることなく湧き続け、武田信玄、徳川家康など多くの名将、文人がこの地を訪れ、湯に入ったと伝えられている。

自然湧出の源泉を4本持ち、泉質は含塩化土類芒硝泉（ナトリウム、カルシウム、硝酸塩、塩化物）。日本列島を横断するフォッサマグナの大地の裂け目から長年にわたり涵養されて湧出してくる名湯だ。

2006年には開湯1300年のアニバーサリー事業として、宿のすぐ隣で温泉掘削をしたところ、泉温52度、日本随一という毎分1600㍑以上の自噴泉を掘り当てた。

合計毎分2千㍑以上の源泉を、展望大浴場、野天風呂など6種類の浴場ほか、客室風呂、給湯、シャワーで使用。いずれも加温、加水をせずに使っている。ただ、限りある自然の恵みを無駄遣いすることなく、使用湯量は湧出量の4分の1程度にとどめている。

温泉施設は同館の顔といえる野天風呂「望渓の湯」「白鳳の湯」と最上階の展望風呂「桧香の湯」「石風の湯」。ほかに、二つの貸し切り露天風呂がある。

料理は山里の恵みを生かした体に優しい会席。山と川の幸をふんだんに使い、海のものは一切使っていない。料理長の佐藤眞司さんは平成26年3月、第27回全日本日本料理コンクール郷土料理部門で国土交通大臣賞を受賞した腕前。至高の逸品を味わってもらいたい。

▽慶雲館は山梨県南巨摩郡早川町西山温泉。☎0556（48）2111。http://www.keiunkan.co.jp/

望渓の湯

深山会席

華やぎの章　慶山

山梨県・石和温泉

ステーキと旬彩懐石

料理に定評のある華やぎの章　慶山（千須和昌和社長）。2009年9月にステーキ懐石を提供する「牛鉄板焼処『千』」（カウンター12席）、10年3月に旬彩懐石の「客前割烹『昌』」（同8席）が相次いでオープン、真新しい施設での食事に宿泊客の評判は上々だ。

料理・食事

完全予約制。18～19時半と20～21時半の2部制を採っているため、ゆったりと落ち着いた雰囲気で料理を味わえる。

千ではシェフが目の前でもてなす甲州牛・甲州ワインビーフの鉄板焼きフルコースが、昌では板前が見事な腕前で魚をさばき、新鮮な刺身と熱々の天ぷらが楽しめる。

このほか、みのぶゆばをふんだんに使った「湯葉懐石」や野菜を中心に素材の効能を生かした慶山オリジナルの「薬膳料理」なども。ぜひ味わってほしい。

▽華やぎの章　慶山は山梨県笛吹市石和町市部822。☎055（262）2161。https://keizan.com/

牛鉄板焼処「千」での食事風景

翔峰

長野県・美ヶ原温泉

水面が北アルプスの山並みを

昨年5月にグランドオープンした信州松本　美ヶ原温泉　翔峰（小林史成社長）。グランドオープンのテーマは、「感動の温泉宿」。近年増えている国内の個人、小グループ客や、訪日外国人観光客からも支持をされる旅館づくりを進めている。

温泉・浴場

改装の目玉は、西の館「天覧」3階に新設された「展望風呂　美しの湯」。浴槽の眼前に水鏡を配し、水面が北アルプスの山並みを映し出す絶景が広がる。浴室内には、内湯ゾーンと半露天風呂ゾーンがあり、内湯ゾーンには天然温泉とシルクバス、半露天風呂ゾーンには天然温泉と炭酸風呂と、合わせて四つの浴槽を楽しめる。そのほか、ジャグジー併設の露天風呂、低温サウナを備える庭園大浴場「束間の湯」も人気の風呂だ。併せて、プライベート空間でゆっくりと寛げる三つのタイプの貸し切り風呂も用意した。

湯上がりラウンジには北アルプスの名水を用意し、ゆったりとくつろげる16席のソファを配置した。夜には、ライトアップされた水鏡の水面越しに松本の夜景も楽しめる。

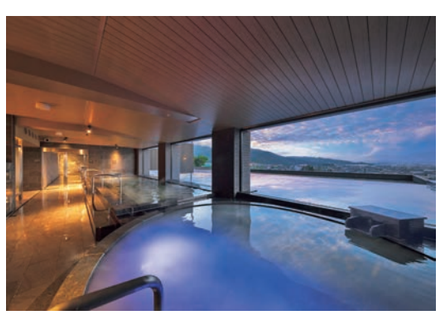
眺望も売りで、全ての客室からは北アルプスと松本の城下町を一望できる。特に東の館の客室、蒼昊は5～7階の全室で窓際にフローリングのリビングコーナーを用意。朝夕に表情を変える北アルプスの絶景が楽しめる。リビングには温もりのある木製の家具を配置し、眺望を邪魔しない高さに調整した。また、7階客室には天然温泉のビューバスを設置した。

自慢の食事も堪能したい。「信州を味わいつくす空間」がコンセプトの「旬菜ダイニング信州」。ライブキッチンの目玉として石窯を使った創作和食を信州産の食材をふんだんに使い提供する。

かつては松本城主が保養のために建てた別荘「御殿の湯」があり、現在は国民保養温泉地に選定されている美ヶ原温泉。落ち着いた雰囲気の湯の里で、一度は足を運んでみたい湯の街だ。

▽翔峰は長野県松本市大字里山辺527。☎0263(38)7711。http://www.hotel-shoho.jp/

県下最大級の大浴場内湯


絶景の景観が楽しめる展望風呂

明神館

長野県・扉温泉

自然感じる癒やしの湯

扉温泉明神館（齊藤忠政社長）は、自然に囲まれた渓谷のスパ&リゾート。三つの浴場で癒やしの湯を堪能できる。厳格な審査をクリアしたホテル、レストランだけが加盟を認められる国際的な組織ルレ・エ・シャトーに加盟している。

温泉・浴場

立ち湯「雪月花」は、わさび沢の渓谷側が開放され、立った姿勢で腰まで浸かることができる。新緑、紅葉、雪景色など、四季の自然が目の前に広がる。露天風呂付き大浴場「白龍」、寝湯「空山」も自然を感じながら寛げる。

客室は計43室。今年4月は新客室カテゴリー「然（ZEN）」がオープンした。需要が高まるベッドタイプの部屋で、客室露天風呂の装備をはじめ、ミニバーのスペースなど、特別仕様の部屋になっている。

料理は、自家製の無農薬野菜や旬の食材にこだわり、夕食は日本料理、フレンチのいずれかから選べる。

▽扉温泉明神館は長野県松本市入山辺8967。☎0263（31）2301。http://www.tobira-group.com/myojinkan/

立ち湯「雪月花」